

# 平成 30 年度シラバス

教 科	科 目	単位数	履修学年・クラス
外国語	コミュニケーション英語Ⅱ(G)	2	2 - 1

## 1. 学習の到達目標

- \* 英語の「ことばの使い方のルール」を知り、英語を正しく話したり、聞いたり、読んだり、書いたりすることができるようになる。
- \* テキストやワークの練習問題を通じて、さまざまな英語の問題に慣れる。
- \* 英単語や英文の並び替え問題の確認テストを実施し、基礎学力の徹底を図る。
- \* 授業を通して、人権問題等を考える機会を持つ。

## 2. 学習の計画

	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>* Big dipper (文法) 後、本科へ入る。</li> <li>* Pre Lesson1 文の種類</li> <li>* Pre Lesson2 動詞の形の変化</li> <li>* Lesson1 現在時制、過去時制 中間考査</li> <li>* Lesson2 未来時制</li> <li>* Lesson5 助動詞 (I)</li> <li>* Lesson6 助動詞 (II)</li> <li>期末考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* さまざまな種類の英文を学ぶ。</li> <li>* 動詞の変化表を覚えて、使えるようになる。</li> <li>* 一般動詞 (現在形、過去形)、現在進行形、過去進行形を学ぶ。</li> <li>* 英語で未来のことを表現できるようになる。</li> <li>* 助動詞の種類を覚えて、英文を理解し、実際に使えるようになる。</li> <li>《 随時、単語テスト、並び替えテストを行い、基礎学力の徹底を図る 》</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>* Lesson7 受動態 (I)</li> <li>* Lesson8 受動態 (II)</li> <li>中間考査</li> <li>* Lesson9 不定詞 (I)</li> <li>* Lesson10 不定詞 (II)</li> <li>* Lesson11 不定詞 (III)</li> <li>期末考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 受動態の文を理解して、さまざまな種類の受動態を学ぶ。</li> <li>* 不定詞の基礎を学び、使い分けができるようになる。</li> <li>* 不定詞を使った重要表現を理解する。</li> <li>《 随時、単語・並び替えテスト実施 》</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>* Lesson12 動名詞</li> <li>* Lesson13 分詞 (I)</li> <li>* Lesson14 分詞 (II)</li> <li>学年末考査</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>* 動名詞を理解し、不定詞を照らし合わせて学ぶ。</li> <li>* 現在分詞、過去分詞、分詞構文を学習する。</li> <li>* 1年間のまとめ</li> <li>《 随時、単語・並び替えテスト実施 》</li> </ul>

## 3. 評価方法・評価の観点

評価方法	定期考査、提出物、授業態度などの総合評価
------	----------------------

評価の観点	関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	知識・理解
評価の内容	コミュニケーションに関心を持ち、積極的にコミュニケーションを図ろうとする。	英語を用いて、自分の考えなどを話したり、書いたりできる。	英語を聞いたり、読んだりして、話し手や聞き手の意向などを理解する。	英語の学習を通じて、ことばとその背景にあるものの考え方や文化などを理解し、知識を身につける。

## 4. 使用教科書・副教材

使用教科書	LEARNERS' ENGLISH GRAMMAR in 21 STAGES (数研出版)
副教材	WORKBOOK for LEARNERS' ENGLISH GRAMMAR (数研出版) ESSENTIAL WORDS①(中部日本教育文化会) 辞書 (ニュービクトリーアンカー)、就職英語 (中部日本教育文化会)